

【研究協力募集のお知らせ】

読み上げ機能と読書に関する研究

読み書きに困難があるお子さんと、読み書きに困難がないお子さんを対象に、読書をサポートする技術（テキスト読み上げ機能：TTS）と自分で読書をするものの関係について調査しています。本研究を通して、お子さんが自分に合ったスタイルで楽しく読書ができたり学べたりする環境を支援することを目指しています。

◆対象

小学校3年生から中学校3年生まで

ディスレクシア・LD等により読みに難しさを感じているお子さん 15名程度

読みに難しさがあるADHDなどの傾向があるお子さんも、積極的に募集しております

読みに難しさのないお子さん 15名程度

◆期間・日時

2026年7月～2026年10月までの期間で1回のみ実施します。

30分～60分で終了予定です。（お子さんの状況により前後します。）

具体的な日程や実施スケジュールは、ご相談や指導状況に応じて調整・決定します。

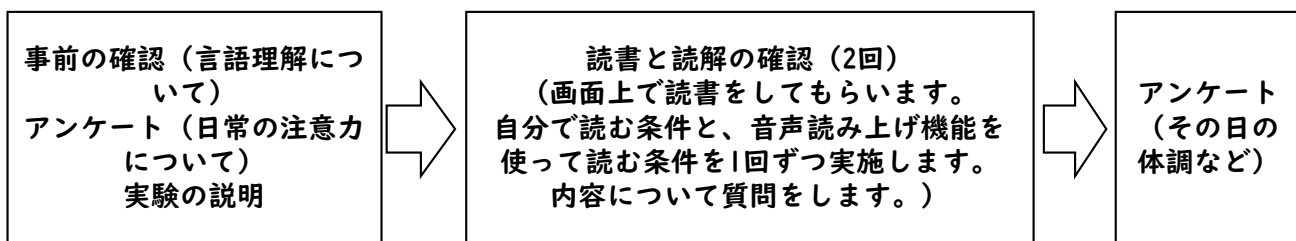
◆場所

筑波大学心理・発達教育相談室

（地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅徒歩5分 筑波大学東京キャンパス4階）

◆内容について

予定している主な流れは、以下のとおりです。なお、面談の結果、研究参加が難しいと判断された場合は、ご参加頂けない可能性もあります。予めご了承ください。



◆連絡先

筑波大学心理・発達教育相談室 電話：03-3942-6850

相談受付の詳細は、以下のURLページの下部にあります「ご相談にあたって」をご覧ください。

<https://www.gakko.otsuka.tsukuba.ac.jp/about/organization/consultation/>

担当相談員

〈研究責任者〉丹治敬之（筑波大学人間系准教授）

〈研究分担者〉磯谷壮樹（筑波大学大学院人間総合科学学術院 障害科学学位プログラム 博士前期課程）